

# メルヘンハウス通信

## 今月の和とく情報

### 着物の衿の時期はいつからいつまで？

着物の衣替えの決まりでは、衿は10月1日～5月31日までの主に寒い時期に着るものとされています。

しかし、二枚の生地を合わせて作る衿の着物を、10月1日から必ず着なければならないという決まりでは、温暖化が進む現代では難しいことです。そのため、今では自分の体調やその日の気温などで独自の判断で衿を着ていくか、単衣を着ていくかを決める傾向にあります。

着物初心者が「独自の判断で着る着物を決める」ということは、周りの視線や意見が気になって中々できることではありません。このような衣替えの不安は、着物の衣替えに関しての知識がないから起こることなので、衣替えの歴史や成り立ちを学び知識を付けることで解消されます。

## これからの和とくポイント

### 衿の使用時期が決まったのはいつから？

中国の宮廷で、旧暦の4月1日と10月1日の年2回行われていた衣替えの時期が日本に伝わり、衣替えが始まったとされています。日本に伝わった平安時代の頃は貴族社会だけの習慣で年2回の衣替えでしたが、江戸時代では武家も衣替えするようになり現代のように年に4回の衣替えになりました。

江戸時代の頃には期間も着るものもそれぞれ下のように細かく決められていました。

- \*4月1日～5月4日・・・裏地の付いた衿の着物
- \*5月5日～8月31日・・・帷子(かたびら)という裏地なしの単衣仕立ての着物
- \*9月1日～9月8日・・・衿の着物
- \*9月9日～3月31日・・・綿入れ(表布と裏布の間に綿を入れた)着物

現代の着物の衣替えも下記のように年4回ありますが、江戸時代とは着る時期も着る物も大きく違いますね。

- \*6月1日～6月30日・・・単衣の着物
- \*7月1日～8月31日・・・盛夏用の薄物の着物
- \*9月1日～9月30日・・・単衣の着物
- \*10月1日～5月31日・・・衿の着物

江戸時代の衣替えの決まりから現代の決まりになったのは、明治維新で新暦が採用されてからのことで、洋服の文化も浸透してきた明治時代に、夏服は6月1日～9月30日、冬服が10月1日～5月31日が衣替えの時期と決められ、現在もこの日をめどに衣替えが行われています。

洋服文化に押されながらも和服も四季の季節や温度にあわせて、着物の素材や仕立て方も変わっていき、衣替えの時期も徐々に現代のように変化していきました。

明治時代から昭和、平成と時代が変わるとともに気温や四季の訪れなど自然環境も変わりゆくのに、明治時代から受け継ぐ着物の衣替えの決まりのままでは、現代の自然環境に対応できないのは当然かもしれませんね。




**やしま呉服店**  
 定休日/毎週水曜日  
 小矢部市岡360 TEL.0766-67-5298  
 今! 全国で一番喜ばれている、前結び着付け教室  
**さくらきもの学院** 受講生募集中  
<http://jtti.jp/sakurawasou/> ☎0120-675-298

今日もさくらきもの気分

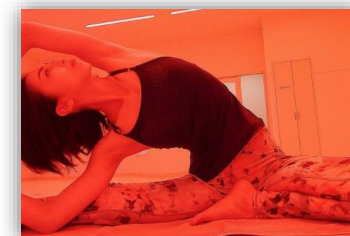
### やしま呉服店からのお知らせ

#### 10月の催事・イベント

- ◎帯地コレクション：7日(木) 8日(金)
- ◎大宗金沢消費者展：8日(金) 9日(土)
- ◎秋のやしま祭り：22日(金)～25日(月)

#### カルチャー

- ◎ヨガ(土)：9日・16日
- 初心者大歓迎!!
- 1時間リフレッシュ
- とてもしラックスできます



詳細のお問い合わせはお店まで(^^) / ^^

#### さくらきもの学院



秋期募集：お友達をご紹介下さると  
高級帯揚げor帯締めが当たります♪

◎HP：<http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎FB：<https://www.facebook.com/sakurawasou/>

※ レッスンのお申込受付ます♪

- ・初等科マンツーマン：7,500円/6回+α
- ・小矢部マイアップレッスン：2,500円/回

詳細のお問い合わせは事務局まで(^^) / ^^

さくらきもの学院8周年記念  
着付け教室受講生募集中

